

さんらいずにゅうす

学校だより

2025年 5月30日
5月号
日出学園小学校
校長 荻原 巖



春の全校遠足



小岩菖蒲園 (1・5年生)

「これぞ遠足日和」と言わんばかりのお天気の中、1年生と5年生は小岩菖蒲園に遠足に行きました。5年生が「周りの人もいるから、静かに乗るんだよ。」と、電車内で優しく語りかける姿は、上級生としての頼もしさを感じました。小岩菖蒲園は河川敷の公園です。広い野原で思い切り駆け回り、生き物探しやダンスなど終始笑顔で遊ぶ姿が見られました。外で楽しく食べるお弁当はいつもの何倍もおいしく感じるようで、あっという間に完食しました。帰りの電車では、遊び疲れたのか今にも眠ってしまいそうな子もいました。兄弟ペアで肩を寄せ合って遠くを見つめる姿は本当の兄弟のようにも見えました。

1年生にとっては初めての兄弟ペアです。これから2年間、お互いの立場でよりよく成長していけるよう、担任・副担任一同見守ってまいります。

里見公園 (2・6年生)

5月1日(木)に春の全校遠足が行われました。お天気も良く絶好の遠足日和になりました。2年生と6年生の兄弟ペアで、里見公園まで手をつないで仲良く歩きました。里見公園では、回転ジャングルジムが大人気で、子ども達が集まっています。また奥の方に入ると、樹木に囲まれた広場があり、鬼ごっこをして楽しんでいる様子が見られました。たくさん遊んだ後に食べたお弁当や、おやつは格別の味であったと思います。どのグループも笑顔がいっぱい溢れていました。6年生は「大丈夫?」「疲れた?帰りに荷物を持ってあげようか。」等、2年生に声をかけてくれました。優しい6年生に2年生はすっかり憧れのまなざし。「ぼくもこんな6年生になりたいな。」という声も聞こえてきました。

優しさや思いやりをたくさん感じる事ができて、心に残る1日になりました。

江戸川河川敷 (3・4年生)

朝から雲一つない、すがすがしいお天気の中、3年生と4年生の兄弟ペアで手をつないで江戸川河川敷に向かって出発です。歩きながら「何して遊ぶ?」「鬼ごっこがいい。」「ドッジボールがいい。」パートナーと仲良くお話ししながら歩いていました。河川敷では、お弁当の前だけでなくおやつ後も、ボール遊び、フリスビー、お花摘み、鬼ごっこ、長縄など、思う存分遊びを(体力温存のためお昼寝する人たちも)楽しんでいました。

このペアで林間学校もいっしょに行きます。この遠足できずなが深まり、きょうだいランチタイムや林間学校がより楽しみになりました。



美しい日本語教室

5月7日(水)、5年生を対象に、劇団四季の方をお招きして「美しい日本語教室」を行いました。劇団四季の舞台に立つ俳優の方によるお話ということで、その発音はとても明瞭で、子どもたちも自然と引き込まれていきました。講師の方からは「大きな声で話しているのに、聞こえないと言われたことはありませんか?」という問いかけがあり、多くの子どもたちが手を挙げていました。その原因の一つが、母音を意識していない話し方にあることを教えていただきました。

実際に「おはようございます!」と大きな声で挨拶しても、母音が曖昧だと相手には伝わりにくいことを体験した後、母音を丁寧に発音する練習をしました。すると、同じ挨拶でも格段に聞き取りやすくなることを実感することができました。

活動の後半では、普段のあいさつを試したり、「友達はいいいもんだ」の歌を全員で歌ったりと、楽しく日本語の発音を学ぶ時間となりました。普段何気なく使っている日本語にも多くの工夫や技術があることに気づいた1時間でした。

翌日の朝の会では、各クラスから「おはようございます!」という、明るく聞き取りやすい挨拶が聞こえてきました。今後も、相手に伝わる話し方を意識しながら、日々のコミュニケーションを大切にしていってほしいと思います。





自然教室



4 年生

館山（マザー牧場・沖の島・鴨川シーワールド）

元気いっぱいの4年生、全員出席で日出学園を出発し最初に向かったのはマザー牧場で。広い牧場で班のメンバーと協力し合いながら、オリエンテーリングに挑戦しました。牧場の生き物と触れ合ったり、羊のショーを観たり普段の生活ではできない貴重な経験ができました。2日目は、お天気が心配されましたが、磯遊びをすることができました。ヤドカリやカニ、なまこ、ウミウシなどたくさんの生き物を観察することができ、あちこちで子どもたちの歓声があがりました。休暇村では「海草のしおり作り」や「星の観察」「貝殻のストラップ作り」も体験し、充実した時間を過ごすことができました。3日目の鴨川シーワールドではどの班も時間、ルールを守って行動し、この3日間の集大成となる姿を見せてくれました。学年目標である「協力・3つの力（努力・共感力・やりきる力）」が大きく育った3日間となりました。この力をこれからの学校生活、また夏の林間学校でも発揮してほしいです。頑張れ！4年生！！



5 年生

那須（大谷資料館・茶臼岳フィールドワーク）

5年生は、自然教室で栃木県的那須に行って来ました。1日目には、大谷資料館を訪れ、大谷石の採石場跡を見学しました。巨大な抗内地下空間を見て回り、その大きさとたくさんの掘られた跡に圧倒されました。

2日目には、茶臼岳登山を行いました。最初の登りが急で、慣れない登山に弱音を吐く子達もいましたが、進むにつれて登山にも慣れ、景色を楽しむ余裕も出て来ました。土の道を上がったり、雪の上を歩いたり、ゴツゴツした岩を上ったりして頂上を目指しました。みんなで声をかけ合って登り切り、頂上で食べるお弁当は格別でした。

3日目には、那須平成の森を訪れ、那須の自然について学びました。熊の爪痕を見たり、鳥や蛙たちの声を聞いたり、葉っぱをちぎって匂いを嗅いでみたり、感覚をフル活用して那須の自然を味わいました。

自然教室では、普段の学校生活では味わえない様々な経験ができ、子ども達は一回り大きくなって戻って来ました。この経験が今後の子ども達の成長に繋がればと思います。



6 年生

日光（足尾銅山・^{けごん}華嚴の滝・戦場ヶ原・日光東照宮）

小学校の集大成として、日光に向かった6年生。2日目の戦場ヶ原のハイキングは天候にも恵まれ、雄大な男体山に見守られながら5.5kmの道のりを歩き、自然に親しむことができました。

今回訪れた場所には歴史的な建造物も多く、最終日の日光東照宮ではガイドの方の案内の元、これから学ぶ歴史学習への理解を深めました。また、今回は「自主的な生活をする」という生活面での自立を目標に掲げました。これまでの林間学校や自然教室で経験したことを活かし、教員による声掛けがなくとも時間を守った行動や荷物の整理整頓を自主的に行う姿からも成長がうかがえました。

最高学年として様々な行事を引っ張っていく彼らの今後が楽しみになる3日間となりました。

